

公共施設再配置計画策定に向けた関係団体からの意見聴取実施結果【キーワード毎の意見のまとめと対応策】

分類項目	キーワード	主な意見 (類似意見を含む意見件数)	対応案	対応箇所 (ページ)
集会・文化	適正規模 足の確保	・財政的に維持できなければ、1施設に統合することはやむを得ないものの、統合の方法や施設機能(大ホール、駐車場、会議室)の適正規模の確保や足の確保などについては、十分に検討する必要がある。(9件)	・個別計画やアクションプラン作成時に利用ニーズ等を加味して十分な検討を行います。 ・再配置においては、自家用車の利用者のための駐車場の確保の他、施設の集約化による施設への良好なアクセスを確保するようにするため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。	19,20 138,139
集会・文化	統合の方法	・統合の方法については、既存建物の大規模改修よりも建替えによるものが現実的である。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に利用ニーズ等を加味して十分な検討を行います。	20,138
集会・文化	民間の発想の導入	・再配置に当っては、民間の発想を取り入れ、使い勝手が良く、儲けられるような施設整備を考える必要がある。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に十分な検討を行います。	138
集会施設	避難場所機能確保	・同施設は、災害時の避難場所に指定されており、民間委託及び地元移管をする際は、市との利用契約を結ぶ必要があると考える。(1件) ・なお、地元移管に関して、奈古谷区では維持管理費を負担に感じている状況であることも考慮されたい。(1件)	・避難施設のある施設は、代替え施設を検討することとしています。 ・韮山生涯学習センターの自治会への移管については、自治会との調整期間を設け実施します。	19 156～158
図書館	一定地域への配置	・図書館は、幼児から高齢者まで、多世代が利用しやすい場所、一定地域ごとに必要。(3件)	・新たな位置は、人口の集積状況や交通利便性の高い位置を候補地として検討します。 ・個別計画やアクションプラン作成時に、利用ニーズも踏まえ、適正規模の確保を検討するとともに、利用者ニーズに対応して多様なサービスの形態を検討します。	44
社会教育施設	答申	・平成25年度に社会教育施設に関する答申をしているので、それを参考にしていきたい。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に、市民や関係団体との合意形成を図りながら進めることとしています。	175～178
社会教育施設	利便性 意見聴取	・計画の前提には市民生活への利便性を第一と考えてほしい。(1件) ・具体的な計画に取り掛かる際には委員会の意見も是非聞いて取り入れてほしい。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に、市民や関係団体との合意形成を図りながら進めることとしています。	176～178
体育館	利用のしやすさ	・財政的に維持できなければ、1施設に統合していくことはやむを得ないが、施設数が減ると同一時間帯での競争率が高くなることから、貸出方法の検討などにより、利用しやすい施設にする必要がある。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に利用ニーズ等を加味して利用しやすい施設整備を検討します。	53
体育館等	地域の利用と集客	・生涯学習、生涯スポーツ振興の推進等のため、再配置の際には多方面の利用を考えた複合施設にした方が良くはないか。地域の利用と共に集客のできる総合的な施設を検討してほしい。(2件)	・個別計画やアクションプラン作成時に、利用ニーズや財政面も考慮し、市民や関係団体との合意形成を図りながら進めることとしています。	176～178
体育館等	異なる利用目的	・利用目的の異なるプールはできる限り残して欲しい。(1件) ・弓道場の統合は、統合の実施まで必要に応じた改修等は行ってほしい。(1件)	・個別計画やアクションプラン作成時に、利用ニーズや財政面も考慮し、市民や関係団体との合意形成を図りながら進めることとしています。 ・再配置実施までの間は、長寿命化を図ります。	175～178
観光	民間移管	・観光施設用のトイレについては、施設の運営団体が管理すべきことが適切であり、移管を進めることでよいのではないかと。(1件)	・民間移管を図ります。	56,57

分類項目	キーワード	主な意見 (類似意見を含む意見件数)	対応案	対応箇所 (ページ)
観光	民間移管の条件	・民間移管のものについては、民間で受けられなければ廃止するというような条件を付けるべきではないか。(1件)	・民間移管のための事前検討、アクションプラン作成において、事業者意向を把握しながら検討を行います。	155,179
子育て支援	子育て	・長岡方面に子育て支援センターがあるとよい。(1件)	・地域子育て支援センターは、文化系施設や行政系施設などとの複合・多機能化を検討します。	87
高齢者福祉施設	利用者の偏り→市民交流の場合	・施設統合の際は、利用者が偏らないよう、足の確保について検討すること。(3件) ・温泉施設を核として年齢を問わず多くの市民の交流の場として施設を統廃合、低料金で利用できる施設を新設すれば、施設への足も確保でき市の収入にも繋がる。(1件)	・再配置においては、施設の安全性や施設への良好なアクセスを確保するため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。	19,150
庁舎	長岡庁舎の活用	・伊豆長岡庁舎は、既に耐震補強工事がなされており、十分に伊豆の国市の中核庁舎として機能するため、補足的に二つの庁舎の規模を縮小し、利用する事には賛同するが、統合された新しい庁舎を建設することは不必要。(1件)	・「伊豆の国市庁舎のあり方協議会」の検討結果を踏まえ、分散している3つの庁舎を、行政業務の効率化をはじめ、市民サービスや利用者の利便性向上を図るために一つに集約します。 ・市民により身近なサービスについては、利用実態を把握した上でより地域的な圏域において必要な機能の確保を検討します。	140-145
庁舎	位置等の議論	・財政的に維持できなければ、1施設に統合することには賛成だが、統合する位置、統合の方法、整備方法については十分に議論する必要がある。(1件)	・再配置においては、自家用車の利用者のための駐車場の確保の他、施設集約化による施設への良好なアクセスを確保するため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。 ・個別計画作成時に利用ニーズ等を加味して十分な検討を行います。	16,19 144,145
庁舎	足の確保	・施設の機能統合については賛成であるが、統合の際に利用者の足の確保について検討すること。(3件)	・再配置においては、自家用車の利用者のための駐車場の確保の他、施設集約化による施設への良好なアクセスを確保するため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。	19,144
庁舎	システム	・行政の機能が1ヶ所に統合されることについては小さな市行政システムを構築するためには仕方がないことかもしれないが、証明発行、施設借用申請等の住民サービスについては、地域の窓口(出張所やコンビニなど)で対応できるようにしていくこと。(4件)	・「伊豆の国市庁舎のあり方協議会」の検討結果を踏まえ、分散している3つの庁舎を、行政業務の効率化をはじめ、市民サービスや利用者の利便性向上を図るために一つに集約します。 ・市民により身近なサービスについては、利用実態を把握した上でより地域的な圏域において必要な機能の確保を検討します。	141～145
庁舎	新庁舎建設	・財政の負担軽減のため早期に菰山庁舎を企業等へ売却し、統合した新庁舎を建設するよう希望する。(1件) ・新庁舎は、障害者に対応したバリアフリーを取り入れ、十分な駐車場及び災害対策(避難場所機能)も考慮すること。(1件)	・庁舎については、「伊豆の国市庁舎のあり方協議会」の検討結果を踏まえ、分散している3つの庁舎を、行政業務の効率化をはじめ、市民サービスや利用者の利便性向上を図るために一つに集約します。 ・市民により身近なサービスについては、利用実態を把握した上でより地域的な圏域において必要な機能の確保を検討します。 ・再配置においては、自家用車の利用者のための駐車場の確保の他、施設集約化による施設への良好なアクセスを確保するため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。 ・庁舎の構造等については、個別計画作成時ににおいて、財政面も考慮して必要性等を検討します。	141～145
跡地	有効活用	・菰山庁舎跡地利用の計画を早々に検討・立案され、解体や整備の方向を示される事を期待する。(1件) ・大仁市民会館の跡地は、市民のために有効活用してほしい。(1件) ・統合により発生した跡地の利用方法について、団体等に意見を求める機会はあるか。(1件)	・施設の統廃合等で発生する跡地利用については、他施設の機能統合の計画や財政面を考慮して、総合的に検討します。 ・旧大仁市民会館跡地については、市民の安全・安心を念頭に、警察署の移転先として前向きに検討したいと考えております。	16,19 173
全体	財政	・公共施設再配置計画策定検討は財政的側面を加味すべき。(1件)	・計画作成は、財政的側面における検討を行っています。	127,131, 178

分類項目	キーワード	主な意見 (類似意見を含む意見件数)	対応案	対応箇所 (ページ)
全体	駐車場整備 足の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・施設統合はよいが、駐車場整備はきちんと欲しい。(1件) ・統合する際は、利用者に対する足の確保(特に交通弱者)について検討すること。(4件) ・集約配置により、交通の便と利便性及び市民サービスの確保並びに市民交流の場の確保を連動させるべき。(1件) ・再配置計画策定検討委員には伊豆箱根鉄道の関係職員などにも参加してもらい、再配置の検討を進めると同時に、公共交通の確保についても考えていくことが必要である。(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置においては、施設の集約化による施設への良好なアクセスを確保するようにするため、公共交通の利便性を候補地選定の条件とします。 ・車利用者が想定される施設については、個別計画作成時に、自家用車利用者のための駐車場の確保を検討します。 ・施設の集約配置等につきましては、再配置位置のルールに基づき、検討します。 	19,139 144,150
全体	大仁地区	<ul style="list-style-type: none"> ・大仁地区から公共施設を減らさないでいただきたい。(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・類型別の評価結果や再配置のルールに基づき統廃合等を進めていきます。 	10～23
全体	人口減少抑制等	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による税収の減少は公共施設等総合管理計画や公共施設再配置計画の前提となっているが、そもそも人口が減少しないような行政努力をすべきである。(1件) ・大学の誘致や国際会議場の設置等人口の増加対策や財源確保方策も同時に示し、社会的弱者の住みやすい街の構築、伊豆の国市の将来に明るいイメージを与えることが必要。(2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少抑制対策は、「伊豆の国市まち・ひと・しごと総合戦略」に基づき戦略的に進めることとしていますが、「伊豆の国市人口ビジョン」に示すとおり、長期的には人口減少が推計されていることから、こうした状況を加味して再配置を図ることが必要です。 ・計画周知の際に留意します。 	2
全体	横断組織	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の統廃合だけでなく、健常者、高齢者、子ども、障がい児者などの対象者のグローバル化による施設利用者の統合も視野に入れる必要がある。そのため担当部署だけの検討ではなく、各課の垣根を取り払い実質的、具体的な話し合いをして実のある計画を策定して戴きたい。(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設マネジメントの専任部署」を設置し、取り組みます。 	177
全体	市民周知	<p>施設再配置計画の必要性を市民にわかりやすく、しっかりと説明してほしい。一般市民が一目見て分かるように工夫する必要がある。又、市民に対する説明会は、大きな区単位でなく、各町内会や区毎の説明会にするなど多くの市民が参加できるようにきめ細かい開催を希望する。(1件)</p>	<p>計画周知の際に留意いたします。</p>	-
その他	職員定数見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の削減だけでなく、市職員の定数見直しなども同時に進めると、意見が受け入れられやすいのではないかと。(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課において必要な検討を進めます。 	-
その他	留意点	<p>再配置にあたっての留意点(各1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館やグラウンド有効利用の検討 ・図書館のあり方検討(気軽に読書) ・給食施設の統合による食中毒等被害拡大抑制 ・効率的な施設整備 ・子育て支援充実(スクールカウンセラー、乳児健診等) ・高齢者温泉交流館の管理 ・施設改修におけるバリアフリー化等 ・くぬぎ会館より交通の便のよい場所での機能確保 ・大仁市民会館跡地の県施設の複合・多機能化 ・文化施設等の統合における運営面の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設の計画や複合・多機能化の検討等とあわせて検討します。 	-